

います。私も中学生の頃、祖父にたびたび劇場につれて行ってもらったことで劇場や演劇などの鑑賞に関心を持ちました。

若い人の参加は次世代の観客を育てる良い機会だと思います。

水野 そうですね。先生もご存じですが文化の家は子どもから大人まで楽しめる『おんぱく』という大きな企画があります。そのような時など良い機会かもしれません。

長久手市では大学生の活動が目立ちますが、今の若い人は企画や広報を得意分野とする人が多いので若者の参加は発展につな



昨年8月3日に開催された「おんぱく」のフィナーレ 舞台いっぱいに参加者が躍動しました



がりますね。

清水 男性の参加はどうですか。

水野 人数としては少ないですね。男性スタッフの増加とともに、会員数も増やすのが今後の課題です。

清水 会員を増やすにはチケットの先行発売や割引以外にも、例えばシーズン券やセット券、サイン会や握手会の特典があるなど工夫があるといいですね。

文化の家は地味だけれども非常に良い企画が多いので、会員数にこだわらず地域との関係をどのように築いていくかを考えてはどうでしょう。地域にどれくらい浸透していくかですね。

水野 そうですね。欲をいえば春先の企画が充実するとフレンズとしてはたいへんうれしいですが…。

現在、毎年行っているフレンズの会員向け市外研修はとても人気があり、多くの会員さんが心待ちにしてみえます。

ピアノの聴き比べもはじめはフレンズの会員対象の企画でしたが、今では文化の家の催しになっています。この季

節では可児のような冬のイルミネーションを図書館通りの飾りつけと繋がるような形で設置し、文化の家をアピールできたらと思います。

関連して単発のイベントなどがあるといいですね。

清水 可児ではイルミネーションの点灯を会員さんなどにしていただいたり、館長からプレゼントのサプライズもあるようですが、いいアイデアだと思います。

水野 他の文化会館とも交流を図り、情報交換しながらこれからのフレンズ活動に活かしていきたいと思います。

最後にまとめとして、フレンズの今後に提言いただけますか。

清水 マニユアルの改訂はとても良いことだと思います。

フレンズはかなり即戦力になっているので、一つ一つ積み重ね継続してほしいです。持続し続ける、それが何より大切だと思います。

水野 今後も客観的な目で、フレンズにアドバイスをしていただきたいと思います。



今日はお忙しいところを、本当にありがとうございます。ご活躍を期待しています。

◆ 清水裕之氏プロフィール ◆

名古屋大学教授 工学博士

長久手町文化の家施設建設

構想委員会委員

平成10年3月 長久手町「文化マスター

プラン」策定委員長

平成19年3月 第二次「長久手町文化マ

スタープラン」策定委員長

現在 長久手市文化の家運営委員長



会員の皆さんに好評の市外研修 写真は平成25年5月 岡崎の八丁味噌工場を見学したときの様子